



## Face Express（フェイスエクスプレス） 利用規約

本規約は、東京国際空港ターミナル株式会社（以下「当社」といいます）が、航空会社の利用者に対して提供する搭乗手続き（航空会社ラウンジ入室を含みます）における本人確認・搭乗券確認サービス「Face Express（フェイスエクスプレス）」（以下「本サービス」といいます）の利用条件を定めるものです。

### 第1条（本規約への同意）

1. 本サービスの利用者（以下「ユーザー」といいます）は、本サービスの利用にあたって、本規約及び本規約に基づくユーザーの個人情報の取扱い（後記第4条参照）に同意する必要があります。
2. ユーザーが、13歳未満である場合、ユーザーの法定代理人（親権者など）が、ユーザーを代理して、本規約に同意する必要があります。

### 第2条（サービスの内容）

本サービスは、別紙1記載の本サービス参加航空会社のうちユーザーが搭乗予定の運航便を運営する航空会社（以下「搭乗予定航空会社」）が行う搭乗手続きにおいて、ユーザーのパスポート・搭乗券情報を用いて本人確認・搭乗券確認を行う際に、当社が、事前に取得したユーザーデータ（後記第4条第2項にて定義）を用いることにより、本人確認・搭乗券確認を顔認証によって行うサービスです。これによりユーザーは、顔認証に成功した場合、各手続きにおけるパスポート・搭乗券の提示は不要となります。

### 第3条（本サービスの利用条件など）

1. ユーザーは、搭乗予定航空会社が本サービスの対象と指定した搭乗予定航空会社による運航便への搭乗を予定し、当該運航便の搭乗券を有効に保有する場合に限り、自動チェックイン機（Face Express登録機を含む）、自動手荷物預け機、保安検査場入口ゲート、自動搭乗ゲートなどの本サービスに対応する機器（なお、自動搭乗ゲートが設置されている搭乗ゲートは、別紙2を参照ください）において、本サービスを利用することができます。但し、以下の事由に該当する場合には、本サービスを利用することができません。
  - (1) 乳幼児の場合
  - (2) 本サービスに係る端末の操作及びゲートの通過において第三者の介添が必要となる場合
  - (3) 羽田空港の一営業日において、既に別便でユーザーデータを登録している場合
  - (4) 有効なICパスポートを所持していない場合
  - (5) マスク、サングラスその他の装飾品を付けており顔認証ができない場合
  - (6) 搭乗予定航空会社が空港内で行う各手続きの利用基準を満たさない場合
  - (7) その他、当社又は搭乗予定航空会社が、本サービスの利用に適さないと判断した場合

2. ユーザーは、本サービスの利用に際して、以下の事由に該当する行為、及びこれに該当するおそれのある行為を行なってはなりません。
  - (1) 法令又は公序良俗に違反する行為
  - (2) 当社、搭乗予定航空会社、他のユーザーその他の第三者の財産権、知的財産権、名誉権、プライバシー権、その他法令上又は契約上の権利若しくは利益を侵害する行為
  - (3) 本サービスの運営又は他のユーザーによる本サービスの利用を妨害し、又はこれらに支障を与える行為
  - (4) その他、当社又は搭乗予定航空会社が不相当と判断した行為
3. ユーザーは、以下の各号に該当する場合には本サービスが正常に機能しない可能性があることを理解し、了承するものとします。
  - (1) 身長135cm未満の場合
  - (2) 身長191cm以上の場合
  - (3) 13歳未満の場合
  - (4) その他、本サービスの機能を妨げる可能性がある事項が存在する場合

#### 第4条（本サービスにおける個人情報の取扱い）

1. ユーザーは、本サービスの利用にあたり、本サービスに対応する機器において、ユーザーデータの登録手続を完了するものとします。
2. 当社は、本サービスの実施にあたって、以下の個人情報（以下「ユーザーデータ」といいます）を取得します。なお、当社は、ユーザーデータをその取得から24時間以内に消去するものとします。
  - (1) 搭乗券に含まれる個人情報（氏名、出発地、到着地、便名など）
  - (2) パスポートに含まれる個人情報（氏名、生年月日、性別、国籍、パスポート番号、発行国、顔画像）
  - (3) 本サービスの顔認証システム（カメラ）が読み取った個人情報（顔画像）
  - (4) 上記（1）～（3）の照合による本人確認情報、搭乗券確認情報その他の本サービスの提供及び運営のために必要な一切の個人情報
3. 当社は、ユーザーデータを、以下の目的の達成に必要な範囲内においてのみ利用し、目的外には利用しません。
  - (1) 本サービス（搭乗手続きにおける本人確認・搭乗券確認サービス）の提供及び運営
  - (2) その他法令などに基づく対応
4. 当社は、本サービスの提供及び運営のため、①ユーザー本人からユーザーデータを取得し、又は、②ユーザー本人の同意を得た上で、搭乗予定航空会社から、ユーザーデータを取得します。
5. 当社は、本サービスの提供及び運営のため、ユーザー本人の同意を得た上で、搭乗予定航空会社に対して、当該ユーザーのユーザーデータを提供します。ユーザーが13歳未満である場合、ユーザーの法定代理人（親権者など）がユーザーを代理して、本項及び前項の第三者提供に同意する必要があります。
6. 当社は、個人情報保護法その他の関係法令及びガイドラインなどを遵守し、ユーザーデータを安全に管理するために、組織的安全管理措置、人的安全管理措置、物理的安全管理措置、技術的安全管理措置の対策を講じます。

## 第5条（本サービスの提供の中断・変更など）

1. 当社は、以下の事由が生じた場合には、ユーザーに事前の通知をすることなく、本サービスの提供を中断し、又は本サービスを廃止することができるものとし、ます。
  - (1) 本サービスの提供に必要な機器・システムなどの修理又は保守を行う場合
  - (2) 自然災害などの不可抗力により本サービスの提供が困難となった場合
  - (3) 法令又はこれらに基づく措置により本サービスの提供が困難となった場合
  - (4) その他、当社が本サービスの提供中断・廃止が必要と判断した場合
2. 当社は、ユーザーに事前の通知をすることなく、本サービスの内容の全部若しくは一部を変更することができるものとし、ます。
3. 当社は、前二項による本サービスの提供中断など又は本サービスの内容変更などによってユーザーに生じた損害について、一切の責任を負わないものとし、ます。

## 第6条（非保証）

当社は、本サービスによってユーザーの本人確認・搭乗券確認などを適時・適切に実施できること、その他本サービスに事実上又は法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性などに関する欠陥、エラーやバグ、第三者の権利侵害などを含みます）がないことを明示的にも黙示的にも保証しません。

## 第7条（免責）

1. 当社は、債務不履行、法律上の担保責任、不当利得、不法行為その他請求原因の如何にかかわらず、搭乗予定便に搭乗できなかったことに起因する損害その他、特別損害（予見可能性があった損害を含みます）、逸失利益、間接損害、付随的損害、派生的損害及び懲罰的損害について一切の責任を負いません。ただし、当社に故意・重過失がある場合を除きます。
2. 債務不履行、法律上の担保責任、不当利得、不法行為その他請求原因の如何にかかわらず、当社がユーザーに対して負う損害賠償額の総額は、1回の本サービス利用当たり1,000円を限度とします。ただし、当社に故意・重過失がある場合を除きます。

## 第8条（本規約の変更）

当社は、当社が必要と判断する場合、本規約を変更することができるものとし、ます。変更後の本規約は、当社が運営するWEBサイト内の適宜の場所に掲示するものとし、掲示後7日後に効力が発生するものとし、ます。

## 第9条（準拠法、裁判管轄）

1. 本規約は日本語を正文とし、その準拠法は日本法とします。
2. 本サービスに起因又は関連してユーザーと当社との間に生じた紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

## 第10条（お問い合わせ窓口）

本規約、本サービス、ユーザーデータの取扱いなどに関するお問い合わせ、ご相談などについては、以下のお問い合わせ窓口までご連絡下さい。なお、お問い合わせ、ご相談などの内容により、回答に時間を要する場合があります。

### お問い合わせ窓口（24時間年中無休）

1 羽田空港ターミナルインフォメーション（お電話）

電話番号：03-5757-8111

2 羽田空港ターミナルWEBサイト（お問い合わせフォーム）

URL：<https://tokyo-haneda.com/contact/index.html>

3 羽田空港内 国際線案内カウンター（対面）

以上

2021年11月1日制定

## 別紙1（本サービス参加航空会社）

- ・ 日本航空株式会社
- ・ 全日本空輸株式会社
- ・ デルタ航空

## 別紙2（本サービス対応の搭乗ゲート）

	対応搭乗ゲート（ゲート番号）
第2ターミナル	66,67A&B,68～73 及びバスゲート700～702
第3ターミナル	105,106A&B,107A&B,108A&B,109～114, 140～149 及びバスゲート131～137